様式第４号（第５条関係）

環　境　報　告　書

令和８年　９月報告

ふりがな	かわくぼけんせつかぶしきがいしゃ	認定ランク	マスター認定
事業所名	川窪建設株式会社		
認定部門	☑ ゼロカーボン推進部門　☑ ごみ減量推進部門　☑ エコ・コミュニティ部門		
概　　要	所在地	松本市桐三丁目 1 番 14 号	
	代表者名	代表取締役　川窪　勇起男	
	事業規模 （主な事業内容 ・従業員数）	総合建設業（建築、土木、大工、とび･土工、屋根、管、舗装、 防水、水道施設、解体） 従業員８名	

○　環境に配慮した取組みの内容

環境に対する理念・方針	基本理念 川窪建設株式会社は建設業を通して地域社会、すなわち地球環境への責任を理解し、学習し、貢献することの大切さを真摯に受け止めます。社員一人一人が環境問題を意識し、環境負荷の軽減に努めます。
環境に関する取組目標	1.　二酸化炭素排出量の削減。 2.　産業廃棄物の再使用･再生利用。 3.　水資源の削減。 4.　環境に配慮した材料の使用推進。 5.　環境に配慮した施工の取組、提案。 6.　化学物質の適正管理。 環境関連法規制等を遵守し、全従業員に周知すると共に協力会社にも協力を呼びかけます。 EA21 を通じて環境経営の継続的改善を進めて SDGsの目標に貢献します。
具体的な取組内容	別紙「Ａ　令和７年度　環境経営活動計画（R7.6.1～R8.5.31)」
実施結果（成果）	別紙「Ｂ　環境経営活動計画と結果（R7.6.1～R8.5.31)」
課題・問題点と その改善に向けた取組み	《評価と見直し》 今年度は、社内での電力使用量が 目標比で 3.5％減少し、日常的な省エネの積み重ねが確かな成果として表れました。現場においても、電気や軽油の使用量が抑えられ、再資源化率が向上したことは特筆すべき点です。廃棄物の総量は増え

	たものの、資源として再利用できる割合が高まったことは、現場での丁寧な分別や意識の向上によるものだと感じています。 一方で、ガソリンや灯油の使用量は増加しました。ガソリンについては、安曇・白馬など遠方現場への移動が多かったことが主な理由であり、業務の性質上避けがたい面があります。灯油についても、今年度の作業内容や現場条件により使用が増えたもので、必要な対応として理解しています。 こうした状況を踏まえると、会社全体の二酸化炭素排出量は 目標値より 24.3%増加という結果になりましたが、現場での燃料使用の背景を考えると、単純な増減だけでは評価できない部分もあります。社員の皆様、協力会社の皆様が日々の業務の中で環境への配慮を続けてくださったことに、改めて感謝申し上げます。 《次年度に向けて》 次年度は、排出量削減を意識しつつ、現場の状況に合わせた現実的な取り組みを進めていきたいと考えています。 「自主的に考え、行動する」という目標については、今年度も十分に形にできなかった部分もありますが、日々の中で生まれる小さな工夫や気づきは、環境への視点を育てる大切な一歩です。そうした芽を育てながら、無理なく続けられる取り組みを積み重ねていける一年にしたいと思います。 具体的な活動内容は、現場の声や状況を踏まえながら柔軟に見直し、より実効性のある形へと整えてまいります。 環境管理責任者 川窪 勇起男
その他、 アピールポイント等	別紙「C 環境活動 (R7.6.1～R8.5.31)」

A. 令和７年度　環境経営活動計画（R7.6.1～R8.5.31）

取組項目		目標値	活動内容	活動期間	責任者
			社　内		
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	9,598 (Kwh)	＊　PCをつけっぱなしにしない。	上記1年間	事務局(佐藤)
			＊　こまめに消灯。(昼休みは食事する部屋以外消灯)	上記1年間	事務局(佐藤)
			＊　温度管理・チェックをこまめにする。	上記1年間	事務局(佐藤)
			＊　夏は窓を開けて風邪を通し温度を下げてからエアコンをつける。	夏季	最初に出社した社員
			＊　退社30分前にはエアコンをOFFにする。	上記1年間	最後に退社する社員
一般廃棄物の削減		使用量の把握	＊　両面コピー、裏紙の使用をする。	上記1年間	事務局(桜井)
			＊　電子媒体を使い紙の削減をする。PC共有機能の活用。	上記2年間	事務局(佐藤)
			＊　ミスプリを減らす為プレビュー画面でチェックする。	上記3年間	事務局(佐藤)
水の削減		監視	＊　水の出を細めにする。	上記4年間	事務局(佐藤)

取組項目		目標値	活動内容	活動期間	責任者
			現　場		
二酸化炭素排出量削減	電気	11,913 (Kwh)	＊　PCをつけっぱなしにしない。	上記1年間	各代理人
			＊　こまめに消灯。事務所を空ける時は消灯。	上記1年間	各代理人
			＊　夏は窓を開けて風邪を通し温度を下げてからエアコンをつける。	夏季	各代理人
			＊　退社30分前にはエアコンをOFFにする。	上記1年間	各代理人
	ガソリン	6,440 (L)	＊　現場までの移動距離を短く。	上記1年間	各代理人
			＊　こまめにエンジンを切る。	上記1年間	各代理人
			＊　無駄な荷物を乗せたまま車を走らせない。	上記1年間	各代理人
			＊　タイヤ空気圧等点検を行う。	上記1年間	各代理人
	灯油	1,001 (L)	＊　冬は養生をしっかりとして削減に努める	上記1年間	各代理人
水の削減		監視	＊　水の出・止をこまめにする。	上記1年間	各代理人
産廃再資源化・適正管理		87.23 (%)	＊　資材は少なめに入れて調整する。	工事期間中	各代理人
協力会社への教育			＊　新規入場者教育の資料作成と教育実施。 ＊　共同作業のお願い＊緊急事態想定訓練(年１回)	発生時	各代理人
工事現場の環境配慮			＊　化学物質取扱いの注意指導→全ての現場で実施。 ＊　現場までの乗り合い、最短距離の提案 →全ての現場で実施。 ＊　資材の搬入時に不要梱包をなくすことを提案→全ての現場で実施。	上記1年間	各代理人
＊　環境関連法規の遵守状況の確認。				上記１年間	環境管理責任者
＊　環境教育の実施・取組状況の確認。				上記１年間	各代理人
＊　エコアクション２１推進委員会　年に４回				４回/年	事務局(佐藤)

B. 環境経営活動結果（R7.6.1～R8.5.31）

評価　○：よくできている △：一部できている X：できていない

取組項目		目標値	活動内容	責任者	活動期間	活動の確認(3ヶ月ごと)			
			社　内			6-8	9-11	12-2	3-5
二酸化炭素排出量削減	電気使用量の削減	9,598 (Kwh)	＊　PCをつけっぱなしにしない。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	○
			＊　こまめに消灯。(昼休みは食事をする部屋以外は消灯)	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	○
			＊　温度管理・チェックをこまめにする。	事務局(佐藤)	上記1年間	○	○	△	△
			＊　夏は窓を開けて風を通し温度を下げてからｴｱｺﾝをつける	全社員対象	夏季	○	○	—	—
			＊　退社30分前にはエアコンをOFFにする。	全社員対象	上記1年間	○	○	△	○
一般廃棄物の削減		使用量の把握	＊　両面コピー、裏紙の使用をする。	事務局(桜井)	上記1年間	○	○	○	△
			＊　電子媒体を使い紙の削減をする。PC共有機能の活用。	事務局(佐藤)	上記1年間	○	○	○	○
			＊　ミスプリを減らす為プレビュー画面でチェックする。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	△
水の削減		監視	＊　水の出を細めにする。	事務局(佐藤)	上記1年間	△	○	○	○

活動期間	評　価	対応策
6月～8月	この期間は入札･着工が重なり書類作成等が多くなる時期です。特にPC・消灯関係は気を付けましょう。	お互いに注意喚起をする。
9月～11月	現場は忙しい時期ですが、会社内は落ち着いている時期なので気持ちにも余裕が生まれます。	活動が身に着くように心がける。
12月～2月	エアコンを長い時間付けがちでした。温度の確認も忘れがちでした。	意識向上に努める。お互いに注意喚起をする。
3月～5月	新たな工事の着工と竣工、入札の為の見積作成等が重なりも書類作成　図面作成が多くなりました。	意識向上に努める。お互いに注意喚起をする。

取組項目		目標値	現　場	責任者	活動期間	活動の確認(3ヶ月ごと)			
二酸化炭素排出量削減	電気	11,913 (Kwh)	＊　PCをつけっぱなしにしない。	各代理人	上記1年間	△	△	○	—
			＊　こまめに消灯。(昼休み時、事務所を空ける時は消灯)	各代理人	上記1年間	△	△	○	—
			＊　夏は窓を開けて風を通し温度を下げてからｴｱｺﾝをつける	全社員対象	夏季	○	○	—	—
			＊　退社30分前にはエアコンをOFFにする。	全社員対象	上記1年間	△	△	○	—
	ガソリン	6,440 (L)	＊　現場までの移動距離を短く。	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
			＊　こまめにエンジンを切る。	各代理人	上記1年間	○	△	○	—
			＊　無駄な荷物を乗せたまま車を走らせない。	各代理人	上記1年間	△	△	○	—
			＊　タイヤ空気圧等点検を行う。	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
	灯油	1,001 (L)	＊　冬は養生をしっかりとして削減に努める	各代理人	上記1年間	—	—	○	—
水の削減		監視	＊　水の出・止をこまめにする。	各代理人	上記1年間	○	○	○	—
産廃再資源化適正管理		87.23%	＊　資材は少なめに入れて調整する。	各代理人	工事期間中	○	○	○	—
協力会社への教育			＊　新規入場者教育の資料作成と教育実施。 ＊　共同作業のお願い。＊緊急事態想定訓練（年1回）	各代理人	発生時	○	○	○	—
工事現場の環境配慮			＊　化学物質取扱いの注意指導　5件 (R8.6月現在) ＊　現場までの乗り合い、最短距離の提案　6件 (R8.6月現在) ＊　資材の搬入時に不要梱包をなくすことを提案　6件(R8.6月現在)	各代理人	上記1年間	○	○	○	—

活動期間	評　価	対応策
6月～8月	車の中が暑すぎて、あえてエンジンを付け状態にしたこともあった。事務所の中と外で打ち合わせすることも多く、事務所の電気・PCをつけっぱなしにすることが多かった。	意識向上に努める。注意喚起を多く行う。
9月～11月	現場の繁忙期となり、いろいろな面で意識が薄れがちになった。	意識向上に努める。
12月～2月	現場が落ち着き人の出入りも減り始め、意識を向けられるようになった。	意識向上に努める。
3月～5月	—（現場無し）	—

＊　環境関連法規の遵守状況の確認。	環境管理責任者	上記１年間	○	○	○	○
＊　環境教育の実施・取組状況の確認。	各代理人	上記１年間	○	○	○	○
＊　エコアクション２１推進委員会　年に４回	事務局(佐藤)	４回/年	○	○	○	○

〈現場での活動〉







Q3

1年間を通じて、日本の家のなかで一番エネルギーが使われているのは？

正しいと思うものを1つ選んで、答え欄に記入してください。

①石炭
②電気
③灯油

答え

Q4

農作物を生産する際にもさまざまな形でエネルギーを使用しますが、キュウリ1kg（約8本）を作る際に使用するエネルギーは、露地（屋外の畑）で栽培する場合とビニールハウスで栽培する場合を比べると？

正しいと思うものを1つ選んで、答え欄に記入してください。

①露地栽培の方が、多くのエネルギーが必要
②あまり変わらない
③ハウス栽培の方が、多くのエネルギーが必要

答え

地球温暖化対策編

Q1

地球温暖化の原因となる「温室効果ガス」のうち、人間がエネルギーを使うことで最も多く排出しているのは？

正しいと思うものを1つ選んで、答え欄に記入してください。

①二酸化炭素
②メタン
③フロン

答え

Q2

日本の1人当たりの二酸化炭素（CO_2）排出量は、アフリカ諸国と比べると？

正しいと思うものを1つ選んで、答え欄に記入してください。

①日本が少ない
②同じくらい
③日本が多い

答え





〈現場以外での活動〉

令和8年7月1日

川崎建設株式会社　御中

町内環境整備・公園整備費用助成金について

中原町会
町会長　中原　幽友

拝啓　貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日頃は中原町会運営にご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、この度は令和8年度に引き続き町内環境整備及び公園整備に対し助成金を賜るとの申し入れ頂き、誠にありがたく御礼申し上げます。
つきましては、毎月1回実施しております「芝刈り＆肥置道園及び中原公園」の整備で使用しております「草刈機燃料や燃料」等を購入させて頂きます。
以下関係書類を提出致しますので宜しく手続き願います。

敬具

提出書類　　・関係領収書・レシート写し　　1式



領　収　書

川崎建設株式会社　様

金額　12,260 円也

但し、令和8年度中原町　町内公園整備費用助成金として
上記の金額を受領致しました。

令和8年　9月　1日

中原町会
町会長　中原　幽友

